

図書館間における日本十進分類法の 適用の不一致について

—— 「外書講読」授業目標①より ——

Inconsistency among Libraries on the Application of Nippon Decimal Classification

中西のりこ¹⁾ 城戸 章仁²⁾

Noriko NAKANISHI, Akihito KIDO

(要約)

本学経営学部が提供する「外書講読」のうち筆者が担当する科目では、「図書館の使い方に慣れること」を目標の一つとして授業活動を行った。本稿では、図書館での蔵書検索や書誌の排架の基準となる分類記号に興味を持った受講生による研究内容を紹介する。関西圏の12大学図書館が所蔵する絵本に付与されている分類記号を集計した結果、同じ分類法を基準にしても、図書館によって作品の捉え方が異なるため別の分類記号が付与される場合があること、異なる分類法を基準にしている図書館があることが明らかとなった。分類記号の付与の仕方を再考することにより、利便性の高い図書館環境を構築することが可能となると考えられる。

キーワード：図書館, Caldecott 賞受賞作品, 排架, 蔵書検索, 分類記号

¹⁾ 神戸学院大学経営学部准教授 ²⁾ 神戸学院大学経営学部2年次生

1 はじめに

本学経営学部が提供する「外書講読」では、「英語で書かれたものを読む」という共通テーマを担当教員それぞれが発展させ、授業活動を行っている。2013年度のシラバスに掲載されている7人の担当教員が示す授業の主題によると、英語文献を読むことで経営学の専門的知識を身につけることを目指すタイプと、文献を読むための英語力の向上を目指すタイプの二種の授業概要に分かれる。一方、2012年度から筆者が担当してきた「外書講読」では、1) 図書館の使い方に慣れること、2) たくさんの書物を読むことに慣れること、3) 文献の整理ができるようになること(図1)を目標に、本学有瀬図書館に所蔵されている児童向け洋書を利用した活動を行っている。本稿では上記のうち1) 図書館の使い方に慣れること、という目標を意識した授業活動に焦点を当てる。

科目	外書講読 I	単位数	2.0
担当教員	中西 のりこ	キャンパス	有瀬
開講学期	2013年度 前期	曜日時限	水曜1限
主題と目標	この授業では、 1.図書館の使い方に慣れること、 2.たくさんの書物を読むことに慣れること、 3.文献の整理ができるようになること を目標に、有瀬図書館に所蔵されている洋書絵本を読み、書誌リストを作ります。なお、外書講読Iと外書講読II では作成する書誌リストの内容が異なりますので、連続して受講してもしなくても構いません。		
評価基準	授業内の活動:15%、 書誌リスト:25%、 フィードバック:25%、 プラクティク:20%、 期末考査:15%		
提出課題など	書誌リスト0~4A(5回)、 書誌リスト0~4B(5回)、 プラクティク原稿(4回)		
その他			
テキスト	使用しませんが、毎週少なくとも1回は図書館で本を借りることを必須とします。 USBメモリースティックを持参してください。 ※※初回授業時からPCへのアクセスが必要ですので、ログイン名とパスワードを記録したものを持参してください。		

図1. 2013年度前期「外書講読 I」シラバス

「外書講読」において「図書館の使い方に慣れる」という目標を第一に挙げた背景には「自らの興味関心に合った書物を選ぶ」という力こそが大学生に必要とされる読解能力の最初のステップである、という筆者の強い思いがある。在学中に課されるレポートや卒業論文執筆のために、自らの研究テーマに沿った文献を効率よく探し出すことができこそ、和書であれ洋書であれ、文献を読むことの価値が生まれる。そこで、授業で使用するテキストを教員が指定するのではなく、「毎週少なくとも1回は図書館で本を借りることを必須とした。しかし、受講生のほとんどが2年生である科目で、英文で書かれた専門書の棚から自分の興味のある文献を選び出させることを期待するには、受講生が現状持っている専門的知識・英語力の両面で無理がある。そのため、表紙を見ただけである程度内容を想像することができる洋書絵本を用い、将来的には専門書を自分の力で図書館蔵書の中から

選び書誌情報を整理できるようになるための橋渡しとして、図書館蔵書検索の方法や書誌情報の入力法などについての実習を行った。

以下では、「外書講読」を受講した城戸章仁がこの活動を通して関心を持ち自主的に進めた研究内容を紹介する。この研究では、城戸が2013年夏に研究計画を立て、夏から秋にかけて調査・分析を行い、冬に草稿をまとめた。本稿責任筆者は計画の段階で調査と分析方法に対する助言を与え、最終原稿に対する加筆補正を行った。

2 研究動機

「外書講読Ⅰ」では、Caldecott 賞受賞作品を多読することを中心に、図書館の利用方法や、入力した書誌データの分析方法など、読んだ作品を元にレポートや論文を執筆する上で必要な技能を学んだ。この活動を通じて、図書館で目的の書誌を探す際に役立つ請求記号のことを知った。請求記号とは、図2に示すように、書誌の背表紙に貼られているラベルに書かれている数字やアルファベットのことであり、図書館記号や著作記号など、大体三つの情報が記されている [1]。

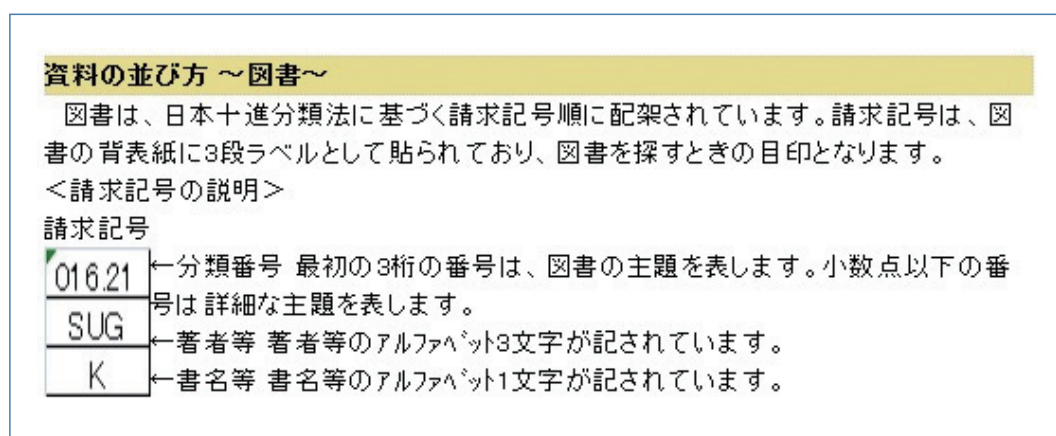


図2. 請求記号に記される情報の例 (神戸学院大学図書館 [2] より抜粋)

そして、そのほとんどには、分類記号が記されている。分類記号とは、日本十進分類法 (NDC) に基づいて、書誌の主題や分野等によって付けられる数字のことであり、10個の大まかな分類を表す「類」、その「類」をそれぞれ10区分した「網」、また更に「網」を10区分した「目」、小数点以下でさらなる詳細を表す「細目」からなる [3]。例えば、アメリカで出版された児童向け絵本を対象に、毎年優れた作品へ授与される賞である Caldecott 賞受賞作品 [4] につけられる分類記号は、絵本を収めるための726.6になるはずである。つまり、「芸術・美術」を表す7類、「絵画」を表す2網、「漫画・挿絵・童画」を表す6目、更に「絵本」であることを表すために細目に6を加えることで、726.6という分類記号が付与される。

しかし、本学図書館の中には Caldecott 賞受賞作品であるにも関わらず、726.6以外の分類記号が付与されている作品が見られた。そこで本研究では、分類記号付与の一貫性、もしくは多様性に着目し、他大学図書館に所蔵されている作品についても調査を行うことで、

大学図書館別・書誌別に分類記号の付け方の傾向を調べることにした。

3 方法

神戸学院大学図書館に所蔵されている Caldecott 賞受賞作品198冊を対象に、請求記号をリストアップする。さらに、日本語訳された書誌の請求記号も記録する。この作業を、本学図書館と、関西圏の大学の大学図書館のホームページが提供している蔵書検索機能 [5] - [16] を使って行う。請求記号をリストアップした後、エクセルのフィルター機能を使って分類記号の付け方の傾向を調べる。分析対象は本学図書館に加え、関西主要大学である、関西大学・関西学院大学・同志社大学・立命館大学・京都産業大学・近畿大学・甲南大学・佛教大学・龍谷大学と、小学校・幼稚園などの教員や保育士の免許を与える教育学科を持つ武庫川女子大学 [17]、児童教育学科を持つ夙川学院短期大学 [18] の計12大学図書館とする。はじめに、それぞれの大学図書館間における分類記号の付け方にどれほど一貫性があるかを調べる。次に、日本十進分類法による分類記号を使用している図書館が Caldecott 賞受賞作品に付与しがちな分類記号の傾向を探る。最後に、比較的多くの大学図書館に所蔵されている作品を取り上げ、分類記号の付けられ方をさらに詳しく調べる。

4 結果

4-1 大学図書館ごとの分類記号の付け方

各大学図書館の蔵書検索ページを調べたところ、基本的に全ての大学において、分類記号付与の基準として日本十進分類法を採用していることが分かった。ただし、同じ大学であっても図書館が設置されているキャンパスによって分類記号のつけ方が異なるケース (図3)、絵本には日本十進分類法とは異なった方法でラベルを付けているケース (図4)、請求記号ラベルが4段組みになっているケース (図5)、図書館内に所蔵されているにも関わらず請求記号が示されていないケース (図6) が見られた。

図3に示す龍谷大学図書館 [19] では、深草・大宮・瀬田の各図書館で資料の分類法が異なっている。文学部1, 2年・経済学部・経営学部・法学部に所属する学生の利用が多いと考えられる深草図書館では日本十進分類法を採用しているのに対して、真宗学科・仏教学科・哲学科に所属する学生が文学部3, 4年生の半数近くを占める大宮図書館 [20] では、仏教関係の分類に力点を置いた分類法を採用しており、理工学部・社会学部・国際文学部生が多く利用すると考えられる瀬田図書館では和書には日本十進分類法、洋書にはデューイ十進分類法を採用している。

図4は、武庫川女子大学附属図書館が絵本の背につけているラベルの表記法 [21] である。同大学中央図書館では、絵本に日本十進分類法とは異なった独自の方法でラベルを付け、1階の絵本コーナーに別置している。絵本だけではなく、4階に別置されている楽譜については、ラベルの1段目に「ヴァイオリン／オーケストラ／合唱／管楽器／鍵盤楽器／弦楽器／声楽／全集／打楽器／ピアノ／邦楽」という表示をしていることも明らかとなった。

分類検索

◆資料の分類をチェックし、検索条件にキーワードを入力して検索すると、その分類に該当する資料が一覧で表示されます。
 ◆龍谷大学図書館は各館それぞれに資料の分類が異なります。

- ・深草図書館および深草図書館分室－日本十進分類法第8版
- ・大宮図書館－龍谷大学大宮図書館独自の分類法(仏教関係の分類に力点)
- ・瀬田図書館－和書は日本十進分類法第8版、洋書はデューイ十進分類法第20版
- ・社会科学研究所－社会科学研究所独自の分類法(発行機関別の分類)

日本十進分類	DDC	龍谷大学分類(RDC)	社会科学研究所(SKN)
--------	-----	-------------	--------------

分類

- 田●0 総記
- 田○1 真宗
- 田○2 仏教
- 田○3 哲学
- 田○4 歴史
- 田○5 社会科学
- 田○6 自然科学
- 田○7 芸術、美術、技術、工学 [美術・工芸]
- 田○8 言語 [語学総記]
- 田○9 文学

図3. 大学図書館独自の分類記号が使われている例（龍谷大学）


絵本 1階絵本	ラベル2段目の50音順・アルファベット順に並べています	
	1段目	絵本
	2段目	タイトルの頭2文字（日本語はカタカナで表記、英語・その他の言語は頭の冠詞・定冠詞を除くアルファベットで表記）
	3段目	巻号

図4. 絵本に固有の方法でラベル付けを行っている例（武庫川女子大学）

図5は、関西大学図書館が所蔵する書誌の請求記号の表記法 [22] である。日本十進分類法による分類記号などの情報の上段に「ロケーション記号」を設けていることが特徴的である。地上3階・地下2階（書庫）に約220万冊の蔵書を有する総合図書館 [23] だけでなく、高槻・ミューズ・堺の各キャンパス図書館が所蔵する書誌をも一括で検索するために、目的の書誌がどこにあるかが一目で分かるよう、ロケーション記号を追加したと考えられる。

■ 請求記号と図書番号

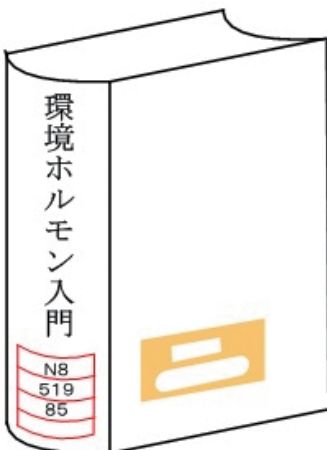
本の背に貼ってある記号を**請求記号**といいます。これは、その本が図書館のどこにあるかと、その本が何の分野に属する本かということを表しています。また、本の表紙にはあってあるシールは**図書番号**といいます。すべての図書に異なる番号が付けられています。

請求記号

N8	← ロケーション記号
519	← 分類番号
85	

図書番号

関西大学図書館
303333413



・ **主なロケーション記号**
請求記号の1段目の記号によって、その本が図書館のどこに記架されているかがわかります。例えば、「KJなら開架閲覧室にある本」という意味です。

図5. 請求記号を示すラベルが4段組みになっている例（関西大学）

6. **Anansi the spider : a tale from the Ashanti / adapted and illustrated by Gerald McDermott**
Harmondsworth, Middlesex, England : Puffin Books, 1977, c1972. - (Picture puffins)

📖 図書

所蔵件数: 1件

巻次	配架場所	請求記号	資料番号	状態	ISBN	利用注記
	BKCメディアセンター 自動書庫		00114927595		0140502165	

図6. 請求記号が提示されていない例（立命館大学）

図6は、立命館大学図書館の蔵書検索を用い *Anansi the Spider: A Tale from the Ashanti* を検索した結果である。「BKCメディアセンター自動書庫」に所蔵されていることは明らかであるが、請求記号が付与されていない。立命館大学びわこ・くさつキャンパス内のメディアセンターでは、図7に示すような自動書庫が設置されており [24]、図書館利用者が閲覧するために書誌を排架する必要がないため、請求記号を付与する必要がなくなったと考えられる。



図7. BKC メディアセンター自動書庫. (立命館大学)

4-2 Caldecott 賞受賞作品に付与される分類記号の傾向

本研究において分析対象とした12大学図書館のうち、4-1で日本十進分類法を基準として分類記号を付与していることが明らかになった8大学図書館のCaldecott 賞受賞作品蔵書数の内訳を表1に示す。該当の作品の蔵書数が多い順に大学名を示し、蔵書作品に付与されている分類記号ごとに内訳を集計した。

その結果、Caldecott 賞受賞作品は7類・8類・9類に分類される傾向が強いことが明らかとなった。つまり、表2に示す日本十進分類法の基準[25]と照らし合わせると、8大学図書館中6図書館ではCaldecott 賞受賞作品を「絵画を味わう芸術作品(7類2網)」と見なす傾向がある。一方で、関西学院大学では作品に付与する分類記号の種類が多いため表1では「その他」としてまとめたが、9類に続く「網」番号が多様であることが特徴的であった。つまり、物語の舞台が中国ならば「中国文学・東洋文学」を意味する2網というように、作品がどの言語で書かれているかということよりも、世界のどの地域が舞台となっている作品であるのかに注目している。933.7という分類記号が付与された46作品とこれら「その他」に分類された作品を合わせると、同大学図書館ではCaldecott 賞受賞作品を「世界各地域の小説や物語を味わう文学作品(9類)」と見なしていることが分かる。また、甲南大学では「英語という言語に関する書物(8類3網)」という分類記号を与えている。これは図8に示すように、同大学が多読学習のための書誌を「語学学習室」に別置している[26]ことと関係が深いと考えられる。つまり、この学習室に収められている書誌は外国語学習のための教材と位置付けられているため、「言語(8類)」に分類されていると考えられる。

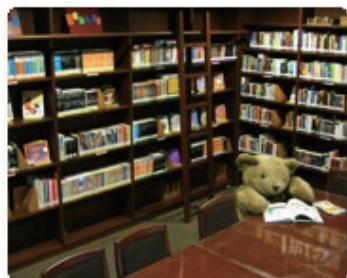
表1. 大学ごとの分類記号別 Caldecott 賞受賞作品蔵書数

大学名	蔵書数	分類記号				
		726.5	726.6	830	933.7	その他
神戸学院大学	174 (57)	(1)	173 (52)		1 (1)	(3)
関西学院大学	38 (31)	1	1 (2)		25 (21)	11 (8)
甲南大学	65 (3)	2		62		1 (3)
京都産業大学	52 (1)		49		1 (1)	2
同志社大学	18 (13)	5 (1)	10 (9)			3 (3)
佛教大学	3 (7)		3 (5)			(2)
近畿大学	3 (6)		(4)		(1)	3 (1)
夙川学院短期大学	5 (1)	5	(1)			

注. 表中の上段の数値は洋書, (下段) は日本語訳書の蔵書数を示す。

表2. 日本十進分類法による記号の意味

分類記号	類	網	目	細目
726.5	芸術	絵画	漫画 挿絵 童画	挿絵 イラストレーション
726.6	芸術	絵画	漫画 挿絵 童画	絵本
830	言語	英語		
933.7	文学	英米文学	小説 物語	20世紀-



語学学習室 1階

多読学習に適した外国語の本がレベル別に並んでいます。
※2007年4月、父母の会の支援によって開設されました。

図8. 「語学学習室」に洋書絵本を別置している例 (甲南大学)

4-3 同一作品に対する分類記号のつけ方の違い

Arnold Lobel による *Frog and Toad are Friends* (邦訳: ふたりはともだち) と, Maurice Sendak による *Where the Wild Things are* (邦訳: かいじゅうたちのいるところ) の2作品は, 4-2で分析対象とした8大学図書館のうち7図書館に所蔵されていることが明らかとなった。そこで, これら2作品に付与されている分類記号を大学ごとにリストアップした結果を表3に示す。

表3. 7大学の図書館に所蔵されている書誌の分類記号

大学名	<i>Frog and Toad are Friends</i>	<i>Where the Wild Things are</i>
神戸学院大学	726.6	726.6
関西学院大学		933.7
甲南大学	837	830
京都産業大学	837 & 908.3	726.6
同志社大学	837.7	726.5 & 726.6
近畿大学	837.7	
夙川学院短期大学	726.5	726.5

表3から, 同じ作品でも様々な分類記号が与えられていることが分かる。*Frog and Toad are Friends* は多くの大学図書館が「英語に関する書物」を表す分類記号837を与えている。これは, この作品に収録されている“The Letter”の和訳版が光村図書出版による小学校国語の教科書に「お手紙」というタイトルで掲載されている[27]ため, 「教材」というイメージが強いことが一因となっていると考えられる。また, *Where the Wild Things are* については半数の図書館が芸術の7類の分類記号を与えているが, 関西学院大学では文学作品としての9類, 甲南大学では言語材料としての8類に分類しており, 表1に示した分析結果と傾向が一致している。

5 考察

5-1 図書館独自の基準で分類記号を付することのメリット

4-1で大学図書館ごとの分類記号のつけ方について調べた結果, 龍谷大学ではキャンパスごとに分類記号のつけ方に違いがあることが明らかとなった。これは, 各キャンパスに置かれている学部の専門分野に合わせた書誌の分類法であると考えられる。特に, 宗教関係の蔵書が多いと見られる大宮キャンパスの図書館では仏教関連の書誌分類に力点を置いている。つまり, 「仏教」に関する書物が同じ分類記号を付与され延々と同じ書架に並ぶということのを避けること等を目的とした分類法であると考えられる。

また, 小学校・幼稚園などの教員や保育士の免許を与える教育学科を持つ武庫川女子大学付属図書館でも, 絵本の背につけるラベルの表記法に日本十進分類法とは異なった独自の方法を採用している。これは, 絵本を手にする機会が多いであろう教育学科の学生に, 絵本コーナーに行けば目的の本が置かれていることが分かるように考え出された工夫であると考えられる。このように図書館利用者の目的がはっきり予測できる場合には, 記号に

とらわれない分類法にも一理あると考えられる。

甲南大学図書館では絵本を「多読学習に適した外国語の本」として語学学習室という部屋にまとめて別置している。Caldecott 賞受賞作品の芸術性を無視して英語教材とひとくくりにするのは作家に対して失礼な感も否めないが、同大学文学部には英語英米文学科があるため、学生の興味が英語であるならば、英語教材として扱ったほうが作品を有効活用できるだろう。

他にも、David Macaulay による *Cathedral* の日本語訳された書誌には、多くの大学図書館が建築学を表す分類記号523を使用していた。このような分類記号を示しておく、建築に興味がある学生が手に取る可能性が高くなるだろう。このように、利用者の興味や利便性に合わせて作品の内容に沿った分類記号の付け方を工夫することも有用だ。

5-2 図書館間で分類記号を統一することのメリット

とは言え、図書館が独自に作った分類記号を使っていると、日本十進分類法を使い慣れている人がとても不便に感じたり、そもそも独自のものであることに気付かず、目的の書誌を見つけられなかったりすることもあるだろう。例えば龍谷大学瀬田キャンパスでは和書と洋書で異なった分類法を採用している。理工学部・社会学部・国際文化学部が混在しているためおそらく国際文化学部の学生には洋書の書架が分かりやすいように工夫をしていると考えられるが、理工学部生はこのエリア・国際文化学部生はこのエリア、というように、学生の図書館内での自由度が低くなることが懸念される。英語を専門とする学部にも所属していなくても洋書を手にするには必要かつ有益であるため、同一図書館内では同一の基準に沿った分類記号をつけるべきだ。また、分類記号の726.6には英語で書かれているか日本語で書かれているかの区別はないため、日本語訳された作品が同一の書架に置かれている可能性が高くなり、二冊を見比べてみることで英語をよりスムーズに受け入れることができるようになると考えられる。

図書館の事情に合わせた請求記号のつけ方を採用したと見られる事例には、書誌の所在を示す「ロケーション記号」を請求記号に追加したラベルを作成している関西大学図書館の例が挙げられる。ロケーション記号を見れば書誌がどこに排架されているかが分かるという点では問題ないが、請求記号の区切り方に問題がある。同大学図書館 OPAC では *Frog and Toad are Friends* に「T*837.7*I2*LO」という請求記号を与えている。問題は、詳細検索の請求記号の入力欄がアスタリスクの部分で区切られ、4つに分かれていることである。他の大学では請求記号の入力欄は一つであり、コピーペーストによる請求記号の入力が容易であるが、同大学図書館の OPAC では、コピーペーストによる入力に手間がかかる。おそらく、ワイルドカードであるアスタリスクを使用しているために、入力欄が一つだとうまく検索できなかったのが4つに分けることになったと考えられるが、アスタリスクを使わなければ良いのであって、わざわざ4つに分ける必要はなかったと考える。また、検索機能はワイルドカードを使って幅広い書誌を検索することができ、請求記号の入力欄でも、分類記号とワイルドカードを組み合わせることで近い分野や特定の分野の書誌を検索することができる。しかし、入力欄が4つに分かれていると、ワイルドカードを使うこ

とができず、OPACの有用性が損なわれる原因になっている。その上、レポート作成や卒業論文執筆の際に、複数の大学図書館による相互貸借を利用し、必要な文献の書誌リストを学生が作る際に、1大学だけが異なったシステムを採用していると不都合が生じる。

立命館BKCメディアセンターでは、開架書架に書誌を並べるという概念を取り払ったため分類記号自体を付与しなくなったと考えられるが、分類記号は排架のためだけにあるものではないため、やはり統一された分類記号を付与する必要がある。さらに、芸術性が高い絵本は、利用者が実際に手に取って表紙の絵やページの厚みなどを味わうことにも価値があるため、よほどの貴重書でない限り、閉架図書として扱うよりは書架に並んだ状態の図書として扱う方が、利用価値が高いと考えられる。

日本十進分類法を採用している図書館でも、作品の捉え方によって、「絵画を味わう芸術作品」「英語について知る言語教材」「物語を楽しむ文学作品」のように作品の位置づけが異なることが分かった。例えば本学図書館ほか大半の図書館ではCaldecott賞受賞作品を芸術作品として扱っているが、関西学院大学は文学作品として扱っており、甲南大学では英語を学ぶための言語材料として扱っている。分類記号は、本来ならば統一されているべきものであり、それがなされていないのは問題である。例えば、Caldecott賞受賞作品を読むために726.6が置かれている書架を探しても見つけられないことがあるかもしれない。図書館の書誌は請求記号を基準に、分類記号順で並べられているため、同じ数字や近い数字はまとめて置かれているのが普通だ。当然、扱い方が違うと分類記号の数字も変わってしまうため、目的の書誌を見つけるまでに時間がかかる可能性がある。

では、芸術作品、言語教材、文学作品のどれに統一すべきか。やはり、絵本という芸術作品に統一すべきだと考える。なぜなら、絵本は子供も読めるものであり、たとえ言葉の意味が分からなくても絵を見て話の流れを理解することができるため、言語教材や文学作品というよりは芸術作品としての側面が強いと考えられるからだ。

以上のことを、今回分析対象としたCaldecott賞受賞作品以外の書誌に当てはめて考えると、学生がレポート作成や卒業論文執筆のために書誌を探す場合、図書館へ行って同じ書架に並べられている本だけを見ていたのでは、研究対象となることからの全てを網羅できないということが示唆される。分類記号が統一されていない現状では、やみくもに図書館へ行って書誌を探すのではなく、あらかじめ蔵書検索をして必要な書誌がどこに排架されているかを調べておくことが重要となる。しかし、このことを知らない学生は、図書館案内に従って書誌を探しに行くと考えられるので、十分な情報を入手できない可能性が高い。そのため、図書館側から蔵書検索をする重要性を学生側に伝える活動を実施することが望まれる。

6 おわりに

本稿では、2013年度「外書講読」の目標の1つである「図書館の使い方に慣れること」に焦点を当てた授業活動から、大学図書館ごとの分類記号のつけ方に興味を持った受講生による研究内容を紹介した。授業では、将来的に受講生たちが自分の力で図書館蔵書の中から文献を探し出し整理できるようになることを見据えて、蔵書検索の方法・分類記号から

書誌の内容を推測する方法・自分が読んだ文献の書誌リストを作る方法などについて実習を行った。このような文献検索の基本的なスキルを身に付けることを目標とする授業活動を実践するためには、図書館における蔵書が質・数の両面で必要である。

幸い本学図書館では様々なジャンルの書誌の収集に前向きであり、洋書絵本を利用した授業実践のために筆者が購入依頼をした文献には「726.6」の統一分類記号を付与し、芸術作品としての価値を損なうことがないようカバーを外さずにラミネート加工をほどこした上で書架に収めている。当初、洋書はすべて地下2階の電動書庫に排架することになっていたが、学生達が書架の前でページをめくりながら借りたい本をゆったりと選ぶことができるよう、洋書絵本の特別コーナーを設けるなど排架にも工夫を凝らしている。

このように、教員や図書館職員が魅力ある図書館空間を保つ努力をするためには、学生自身が本学図書館をどう捉え、何を求めているかを知る必要がある。その面で、経営学部城戸章仁による研究は、より良い図書館環境の構築のために有益な内容であると考えられる。本学学生が図書館蔵書を有効に活用し、レポートや論文執筆、多読活動に自発的に取り組む姿勢を養う手助けができるよう、今後も学生達の声に耳を傾け続けたい。

参考文献

- [1] 日本図書館協会用語委員会. (1996). 『図書館用語集 改訂版』 東京. 日本図書館協会. 155; 228.
- [2] 神戸学院大学図書館. 『総合利用案内 資料の並び方 ~図書~』
http://opac.kobegakuin.ac.jp/?page_id=152
- [3] 森清. (1982). 『NDC 入門』 東京. 日本図書館協会. 30-32.
- [4] Association for Library Service to Children. *The Randolph Caldecott Medal*.
<http://www.ala.org/alsc/awardsgrants/bookmedia/caldecottmedal/aboutcaldecott/aboutcaldecott>.
- [5] 佛光大学. <http://bulib.bukkyo-u.ac.jp/docs/portal/>
- [6] 同志社大学. <http://doors.doshisha.ac.jp/webopac/topmnu.do>
- [7] 関西大学. <http://opac.lib.kansai-u.ac.jp/>
- [8] 近畿大学. https://opac.clib.kindai.ac.jp/opac/opac_search.cgi
- [9] 神戸学院大学. http://opac.kobegakuin.ac.jp/?page_id=13
- [10] 甲南大学. <http://library.konan-u.ac.jp/webopac/catsre.do>
- [11] 関西学院大学. <http://opac.kwansei.ac.jp/webopac/catsre.do>
- [12] 京都産業大学. <http://ksucat.kyoto-su.ac.jp/webopac/catsrs.do?system=1385778926332>
- [13] 武庫川女子大学. <http://lib.mukogawa-u.ac.jp/mylimedio/search/search-input.do>
- [14] 立命館大学. http://runners.ritsumei.ac.jp/opac/opac_search.cgi
- [15] 龍谷大学. http://rwave.lib.ryukoku.ac.jp/opac/opac_search.cgi?smode=1
- [16] 夙川学院短期大学. http://lib.kobeshukugawa.ac.jp/jhkweb_JPN/service/freeref.asp
- [17] 武庫川女子大学. 『大学 学部・学科紹介 教育学科』
<http://www.mukogawa-u.ac.jp/dai/bungaku/kyou/intro.htm>
- [18] 夙川学院短期大学. 『学科案内』 <http://www.shukugawa-c.ac.jp/department/>
- [19] 龍谷大学. 『R-WAVE 分類検索』 http://rwave.lib.ryukoku.ac.jp/opac/opac_class_search.cgi
- [20] 龍谷大学. 『学生数・入学定員・入学者数・収容定員等 情報公表 (基礎データ)』 2013年5月1日現在 <https://www.ryukoku.ac.jp/about/factbook.html>
- [21] 武庫川女子大学附属図書館. 『利用案内 ラベルの意味』
<http://www.mukogawa-u.ac.jp/~library/riyou/riyou.htm>
- [22] 関西大学. 『図書館活用術 関大蔵書の探し方. 請求記号と図書番号』
http://web.lib.kansai-u.ac.jp/library/how_to/kandai_col/seikyukigoto.html
- [23] 関西大学. 『図書館について -フロアマップ』 http://web.lib.kansai-u.ac.jp/library/about/f_map/

- [24] 立命館大学. 『立命館ニュース 4月1日稼働のメディアセンター（BKC 図書館）自動書庫説明会開催』 <http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/koho/headline/topics/2004/03/jidousyoko.htm>
- [25] 日本図書館協会分類委員会. 『NDC10版の検討試案』
<http://www.jla.or.jp/committees/bunrui/tabid/187/Default.aspx>
- [26] 甲南大学図書館. 『施設について 語学学習室』
http://www.adm.konan-u.ac.jp/lib/riyou/materials_and_facilities/facilities.htm#05
- [27] 光村図書出版. 『目次／作者・筆者プロフィール 2年小学校英語』
<http://www.mitsumura-tosho.co.jp/kyokasyo/syogaku/kokugo/2nen.html>